

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームひだまり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：2024年11月29日（金）14時～15時00分

会場：特別養護老人ホームひまわり園 大会議室

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援 センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他			4人

（議題）

1. ひだまり入居者状況について（11月27日現在）

- ・入居者数～18名
男性4名・女性14名
※9/30 退去1名（要介護3・女性・92歳）特養へ入所
※10/7 入居1名（要介護3・女性・76歳）
※10/31～11/5 入院1名（要介護3・男性・91歳）肺炎のため
- ・平均介護度～3.11
要介護1（2名）要介護2（3名）要介護3（9名）要介護4（2名）要介護5（2名）
※変更申請していた方
要介護2→3に変更1名
要介護3→5に変更1名
- ・平均年齢～86.80歳（男性89.54歳、女性86.01歳）
- ・移動手段について
歩行（杖歩行含む）9名
シルバーカー・歩行器4名
車椅子5名（うち介助5名）
※歩行可能な利用者のうち、1名は手引き歩行、1名は車いす使用が増えている。
※歩行器使用の2名は見守りが必要。
- ・食事の摂取状況
自立11名・見守り0名・要介助7名
※要介助は4名が全介助、3名が一部介助。
- ・自分の部屋の理解
自力移動可能な12名対象とし、新入居者1名以外は理解できている。

2. 活動報告（10月～11月）（スライドを使用して活動の様子を紹介）

- お好みメニュー（11月13日）焼きそば
- 県立大学看護科実習（10月21日～25日・28日～31日・11月18日～22日・25日～28日）
- 感染症対策訓練（9月30日）
防護服の着脱訓練：感染症が落ち着いた途端に手順がわからなくなるためおさらい
手洗いの訓練：ブラックライトを使用し、各自の状況を確認し、基本をおさらい
- 自然災害訓練（10月16日）
- 排泄ケア研修（10月24日・31日）
肌トラブルを減らすための、ただしい商品の選定と使用方法
- 園内研修（10月9日・21日・11月15日・25日）
職員が一日通して、必須の研修を受ける

3. 出来事（アクシデント・インシデント）発生報告

当施設は、ヒト・コト・モノの3分類で、それぞれ報告先などを定めたレベル分類をしている。
＜2024年度（4月～11月）＞

① ヒトに関する出来事 72件

転倒・転落 62件

※このうち27件は居室内で発生し、実際には横たわっている状態の発見となる。

そのため、自身で床に座られたケースなども含まれる。

※タンス付近で転倒と思われるケースがあり、撤去ではなく、収納する段を変えることで、本人の気になるものが取りやすい位置にくるようにした。

誤薬 0件

※発生した場合、その原因のほとんどが介助ミスにあたる。

※なかなかゼロにならないのが現実だが、今年度は発生していない。

服薬直前での読み上げ（誰の、何日の、いつの薬か）が徹底されている。

お出かけ（離設） 2件

※例年に比べ少ない。

対策として、居場所を検知するものを身につけてもらっている。

外に出ては危ない場所（すぐに溝があるような）には鍵をしている。

※玄関以外（窓など）から出られることがある、出たい方は玄関に案内している。

※【玄関から出て同じ行動を繰り返す人】の映像と対応の報告。

② モノに関する出来事 1件

③ コトに関する出来事 0件

4. ひだまりの日常の様子（スライドを使用して報告）

- 家事（洗濯物たたみ、調理など）
- レク（作品作り、パズル、塗り絵、風船バレーなど）
- 面会
- 入居者同士の関わり
- 外出（買い物、気分転換）
- 実習生受入
- 誕生会

5. その他報告

長らく運営させてもらっていた、認知症対応型デイサービス【みのるデイサービスセンター】を、利用される方の減少に伴い、12月いっぱいまで休止することとなった。

【意見交換より】 ※各報告途中での意見・補足等も含む

（ひまわり園副園長）

改修により、これまで和室（畳の部屋）が6室であったところ、4室となりました。

和室希望だった利用者が車いす使用になられたり、家庭でもベッドを使用していた経験を経て入居となるなど、フローリングのニーズが高まる傾向にあります。

（市役所）

お好みメニューは、今回のように買い物から利用者が関わって実施しているのですか？

（ひだまり）

メニューを選ぶ段階からかわってもらっていますが、買い物については、天候に左右されたり、（車から降りようとされず）ドライブで終わったりと難しい点があります。

調理には何らか関わってもらえるような工夫をしています。

（地域住民代表）

90代の方が何人かおられるが、部屋の片づけや、清潔の維持などは自分でされていますか？

年齢的に難しくなってくるのでしょうか？

（ひだまり）

ひとりでは出来ない方が多いため援助しています。

冬物夏物などの入替で家族が関わり、併せて衣類整理もして下さる場合もあります。

できる・できないに関しては、年齢的なことより、認知機能の低下によるところが大きいです。

そのため、比較的若い方でも、時節を問わず重ね着をされることなどがあります。

(ひだまり)

玄関から出ていく人はおられますが、それだけでは出来事の報告件数にはカウントしていません。どういう行動をとるか、なぜそうするのか、危険はないかなどを検証し、できるだけ引き留めずに様子をみるよう心掛けています。また、そういう情報を敷地内の他事業所職員と共有しています。

(家族)

入居してから顔つきが変わってきた（表情が穏やかになってきた）気がします。前はそれほど他人と関わるようなことはなかったのですが、ここでは、いろいろ参加しているなと思いました。

また、玄関の話を聞いていて、家だと「なに勝手に開けてんの」って怒っている気がします。

(ひだまり)

ここでは、同じユニットの 4～5 名くらい同性入居者と一緒に過ごされることが多いです。目も耳も良いので、かるた取りなども結構な勢いでされています。

(有識者)

先日のお出かけに関して、挨拶も帰ってくるし、最初にご近所の方のウォーキングかと思っていました。何度か敷地内を覗き込まれること、雨が降ってきても行ったり来たりされ敷地内にも入って来られたことから、別の者が声をかけました。医療院の人かと思って連絡している時に、ひだまりとわかって連絡しました。

先日、コロナが数名発生しましたが、確かに防護服の着脱など忘れたところにやってくると感じています。マスクの着用が難しい人が多いためか、どうしても感染が広がりやすいです。

(家族)

みのるデイサービスを休止されるということですが、それに替わる事業を考えておられますか？

(ひまわり園副園長)

現状、利用者を受け入れる別のサービスは考えていません。個々のニーズに合わせ、当施設にある一般デイや、近隣にある専門デイでの受入れについて、検討や依頼をしているところです。

(ひまわり園園長)

市内の認知症専門のデイも、一時期に比べると半数程度になっています。

専門デイができたころは、まだ十分に認知症の方への支援が確立しておらず、試行錯誤していた時期でした。現在は、認知症の方への支援がスタンダード化されつつあり、一般デイやヘルパーなど、認知症専門のサービスでなくとも対応できるようになってきています。（専門デイのニーズ減少には）そういったことも関わっているかもしれません。

次回案内

日時…2025 年 1 月 31 日（金）14：00～15：00

場所…特別養護老人ホームひまわり園